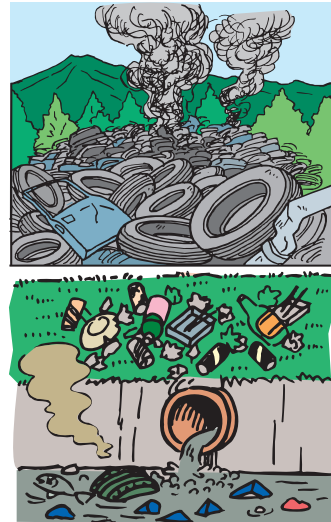


有機物のゴミを投入すれば元素に分解され元の量の1/300～1/500になります。稼働に電力や燃料は不要です。高山でも島でも置いて、何時でも誰でも簡単に使用できます。ゴミ問題を今すぐ解決の方向へ向けましょう。



今までのゴミ処理



有機物ゴミは生活していく上で、あらゆる場面で必ず出てきます。その有機物ゴミをどのようにして、無くすかが問題です。



無くす方法は！

- 1, ゴミを出さない。
- 2, 燃やす。
- 3, 埋め立てる。

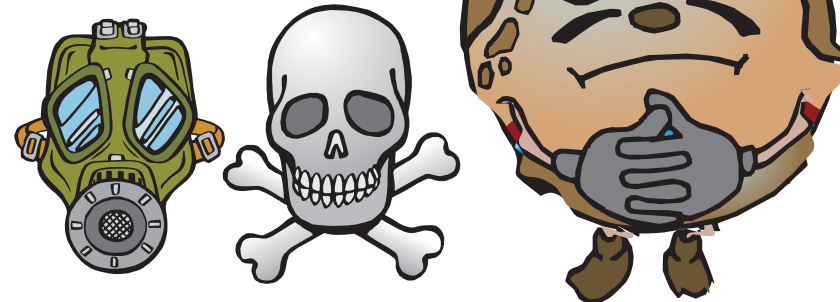
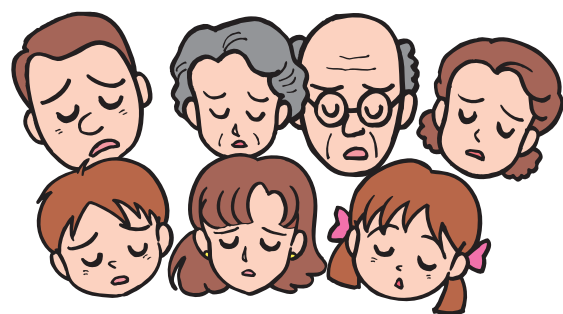


リサイクルできる有機物ゴミも限られます。リサイクルは無くすのではなく、際限なく残ります。あなたなら、どの方法を選びますか？

「1」は現時点で絶対無理です。「2」と「3」、どれを選んでも、排ガス、埋立場所など大きな問題が残ります。

現在、対応が足踏み状態です

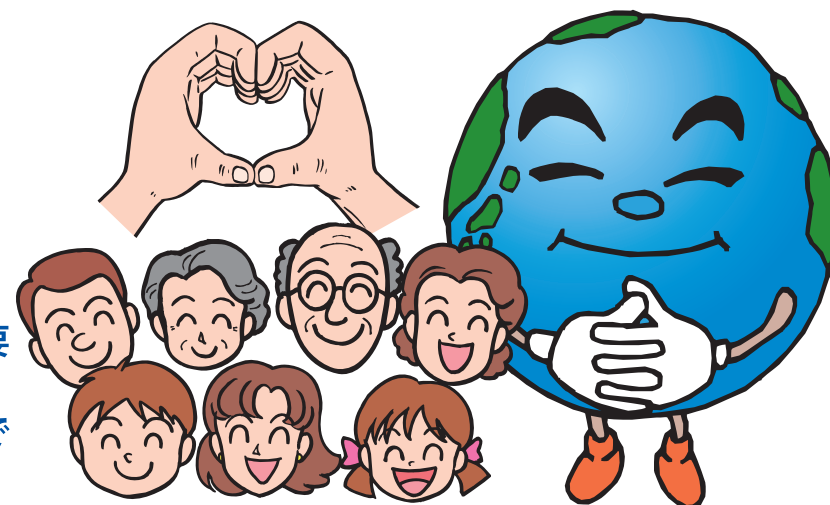
ゴミ処理問題の解決方法を誤れば人々の生活は壊れ、地球環境にも多大な影響が出る事になります。もう既に問題は出始めています。



これからのゴミ処理、一部では既に始まっています

第4の方法として以下があります。

- ・有機物ゴミを燃やすのではなく、磁気力で元素まで分解し、ほとんど無くす。
- ・有機物ゴミの残渣は1/300～1/500になり、非常に少なくなります。
- ・CO₂やダイオキシンはほとんど出ない。
- ・装置を稼働するために燃料や電力が必要なく、とてもエコでコスト安です。
- ・装置は電力、燃料が必要ないので、高山でも島でも何処へでも置いて稼働可能。



おすすめする有機物ゴミ処理方法

